

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和元年11月29日

事業所名：中央愛児園

保護者等数(児童数) 66名・回収数 32通 回答率 48%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 最近園児の人数が増えてきており少し狭く感じる。 理想を言えばもう少し広いほうがより活動内容もある。 園庭があるとよい 参加人数が多いと、どうしてもぶつかったりしてしまうことがある。 大きい子、小さい子が同じ部屋で活動するときは十分とは言えない。 朝の会や保護者研修やお誕生日会の時など、イスの並び方が隣の児と近すぎて手遊び歌などぶつかってしまうので、もっと間隔を広くとってほしい。ぶつかって児同士のトラブルになるので。 こぐまの部屋は人数に対して狭くて着替えも困難。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	6	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 母子分離のクラスの職員の人数が少ない。2~3人増やしたほうが良いと思う。 子どもの特性によってはもう少し先生が必要ではと思う。 子どもの様子をよく見て親でも気が付かないことを報告していただき参考になる。 お昼の食事の時はもう少し人数がいたらよいと思う。 色んな障害の児が増えたので、果たして先生たちはその障害児に対する知識があるのか微妙。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	3	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ピアノの音で終わりがわかること以外は口頭での指示がメインで子どもたちがどれだけ理解して行動できているかわからない。わかりやすい視覚支援がもっとあってほしい。 トイレはおむつ替えのベットが小さいのでもう少し大きい(大人用ベットとか)を設置されているとありがたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> トイレが素晴らしい。 どの空間も清潔に清掃してある。 広々としてよいが階段など運動面で必要なものだと思うので前みたいに出してほしい。 昼休み後も絵本だけじゃなくおもちゃで遊ばせてほしい。 一緒にお友達と遊ぶ機会がなかなかないので練習させてほしい。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の希望が中心で、分析された感が少ない。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	4	0	8	<ul style="list-style-type: none"> 親が見逃してしまうような小さな変化を見つけて次につながるよう支援してください。 必要に応じて専門機関と連携をとっていただき大変心強くありがたい 項目を理解していない
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	2	2	0	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> だいたい同じようなことをしているので、もう少しプログラムを増やしてほしい 季節ごとに行事や園外保育があり満足しているが音楽療法についてはワンパターンなのでもっと工夫してほしい。 いつも課題が同じ感じ。 音楽療法は、もう少し変化を、つまらないです。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	9	8	4	<ul style="list-style-type: none"> きょうだいの受け入れはあるが、他にはなし。地域の園との交流などあってもよいかと。 あと少しだけ障害のない子どもとの活動をしてみたい。 公園散歩などでは他の園児も来るので交流できて良い機会。

保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27	4	1	0	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	28	1	2	1	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	15	8	4	5	・ペアレントトレーニングは有。しかし、もっと繊細な心の揺らぎなどは話しやすい雰囲気欲しい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	2	1	1	・一人の先生に立ち話したことで必要に応じてリハの先生とも共有して下さり一緒に考えていただけるのが心強いです。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	0	2	0	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	12	4	3	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	5	1	2	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	6	0	1	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	4	1	2	・決まった日に日程の発表されているので兄弟との兼ね合いもあり、ありがたいです。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	29	2	0	1	
非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	7	0	2	・避難訓練は毎月実施されているが、その他の訓練(防犯など)は受けたことがない。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	4	0	3	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26	5	0	1	・楽しみにしています。 愛児園に着くともうれしそうです。
	23	事業所の支援に満足しているか	25	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 登園できる日が限られているため満足できない。 前のようにいつでも登園できるように戻してもらいたい。 きちんと通園児と保育園等の併用児をわけるべき。それができないなら全園児が毎日通えるようにしてもらいたい。 遠足が毎回ポニー教室だけになってしまったので水族館や動物園にも行ってほしい。いもほりの行事もなくなってしまったのでまたやってほしい。 昨年度から運営体制がガラリと変わり、降園時間も30分前に比べて早くなった。13時30分降園の日は給食を食った後が非常にバタバタしており落ち着かない。一律14時降園にしていただけるとありがたい。 親子ともに精神的な支えになっている。 ありがたいことも多いが、不満や不安に思うこともあるので、満足とは言えない。 保育園との愛児園の併用について、どういう基準で決めているのかよくわからない。もっと明確にしてほしい。 トイレのおむつ入れを増やしたい。 持参した箱を置いてもいいですか？

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け評価の集計結果(公表)

事業所名 : 中央愛児園

対象職員 7名 ・ 回収数 7通 100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 現在は部屋を分けて対応。クラスによっては少人数のグループわけが必要。 グループによっては人数が多いので部屋を分けて使用している。 静養室が指導室として利用されているのどうかと思う。 その日の定員で臨機応変に訓練室を使用している。
	2 職員の配置数は適切であるか	2	4	1	<ul style="list-style-type: none"> グループの人数によっては足りていない 園児数が多い日はもう少し欲しい 分離するには人手が足りない。分離時に入る短時間のパートなど人手が欲しい 定数としては足りているが、現実追いつかないことがある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ドアの鍵がかかりやすく、抱っこで移動しているとき等危険だと感じた。 工夫していく必要が未だある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 空気の入替えが気軽にできると良い。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	1	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	0	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0		
11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	1		
12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1	0		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	0	・定期的に行えとなお良い。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	0	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	0	・もっと密に図るよう努めていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	3	0	・直接的なやりとりはできていない。 ・もっと密に図るよう努めていきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	0	・電話連絡や見学の受け入れをして情報共有している。 ・もっと密に図るよう努めていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	0	・もっと密に図るよう努めていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	0	・もっと密に図るよう努めていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	0	0	・昨年度より地域の保育園との交流会を月1回行っている。 ・保育園見学はとても貴重な時間になっていると感じられる。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	3	0	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	4	0	・毎月保護者研修会は行っているが、子供への対応力のプログラムは少ない
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	0	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの受け入れはしている。 おもちゃ図書館？
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 防犯と感染症の対応については不安がある。 早急に実行しなければならない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎年診療情報提供書を提出してもらっている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットの報告を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束を行う事例はなし。 身体拘束についてわからない。

事業所における自己評価の結果(公表)

チェック項目		取り組みの状況
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を遵守したスペースを確保していますが、支援の内容(課題等)によっては、工夫を必要としています。限られたスペースの中で適切なサービスを提供できるようさらに検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	法令を遵守した人員配置を確保しております。また保育士の加配をしておりますが、分離のクラスでも十分な体制がとれるよう保育補助等の人員の補充を開始しました。 職員の質の向上(専門性)については、外部研修への参加、内部研修の実施をしているが、今後経験等に応じた研修のあり方を検討していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	園児が空間認知しやすいように工夫していきます。 園児の安全確保のために常に危険な個所がないかを確認し、その都度改善に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	毎日の清掃・消毒を徹底し、安全・清潔を保っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	各担任で意見を出し合い、計画の立案を行っております。実行後も振り返り、改善しています。 業務の効率化を図っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	昨年度より実施した自己評価による保護者等向け評価表よりいただいたご意見を集約し、業務改善やサービス提供に反映させています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	事業所自己評価表、保護者向け評価表の結果及び事業所における取組みは、法人ホームページにて公表しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	外部の評価機関により定期的に利用者調査の実施、第三者評価を受けています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修への参加、内部研修の実施を行っています。 今後も職員のニーズやレベルに応じた研修への参加を継続していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	保護者との面談にて、アセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しています。 専門職を交えたケース会議での分析を行っています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	全園児共通の項目を標準としています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	保育園・幼稚園等の移行支援については、子どもの発達状況や保護者の意向に応じてサポートしています。 家族支援・地域支援を補えるよう検討していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	保護者と個人面談を行い、保護者のニーズ、園児の発達段階に応じた計画を立て、保育課題や園での活動の中で支援をしています。
14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	年齢、発達段階に応じたクラスの編成をしており、クラスごとに課題の立案を行っています。	

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	毎日の流れを身に付け、園児が自発的に行動(準備や片付け)できるようにしていくと同時に、園児の発達につながる保育課題を立案し、固定化しないよう見直しも行っていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	園児全員が参加できる合同保育と年齢別に分けた小クラスの保育を実施しており、園児の発達に応じたクラスに参加できるよう計画を策定しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日のミーティング時に課題(支援)の体制の確認を行っています。園児降園後は、保育中の園児の状況など振り返りを行い、園児情報の共有を図っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	園児の記録・支援内容等を記録し、職員間で共有しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	二期制を取っており、半期ごとに保護者と個人面談を行い、保護者のニーズ、園児の発達段階に応じた計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談支援事業所とのサービス等利用計画のモニタリングは、児童発達支援管理責任者が行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	現状では、利用者に対する連携した支援は行われていません。今後、関係機関との連携をした支援が行えるよう検討していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	現状対象となる園児はおりませんが、医療体制は、法人診療所の診療統括医、嘱託医及び看護師による定期的な観察を行っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	就園時には就園先への情報提供を実施しています。就学時には、教育委員会及び就学先への情報提供を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	卒園後の小学部や特別支援学校とは、必要に応じて情報交換を行っています。学校見学会などの開催時に参加しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	全国児童発達支援協議会に参加しているほか、他の児童発達支援センターや自治体が主催するの研修会等に参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	豊島区立の保育園にご協力いただき、定期的に交流保育を実施しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	自治体が主催する連絡協議会等に参加しています。頻度は少ないですが会議等開催時は積極的に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日々の活動での様子を保護者と確認しながら、できるようになったことや、苦手なことを伝え合っています。親子分離クラスでは、支援後フィードバックを行っています。子どものことで保護者が抱えている問題をいち早く解決へとつなげるためにコミュニケーションを図っています。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	毎月1回保護者研修会を行い、勉強会を実施しています。保護者の子どもへの対応力のプログラムの実施を検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	入園時（利用契約時）に園長・副園長より重要事項の説明を行っています。また、制度改正や報酬改定時は、その都度説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	学期ごとに保護者と個人面談を行い、保護者のニーズを確認しながら支援計画を立て、保護者の同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	個人面談では、しっかりと時間を取り、支援計画だけでなく、ご家庭での子育ての様子、就園・就学についても話し合っています。また、保護者の要望があった時には随時、話し合いの場を設けています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	行事は家族も参加できるように設定し、家族間の交流の機会を作っています。また、保護者主催の行事も実施しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	保護者からの相談には随時対応しています。また、医師・看護師とも医療の相談ができる体制を取っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月の全体の活動予定や行事予定、クラスごとの詳細な保育予定を配布および、法人ホームページにも公開しています。また、緊急連絡なども一斉メールにて対応しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	個人情報が含まれる文書、個人ファイルは鍵付の書庫にて厳重に保管するなど適切に取り扱っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	連絡帳にて、保護者と職員で情報伝達を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域支援を目的とした「おもちゃの図書館」を開設し、近隣の子ども達へ開放して交流を図っています。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	毎月1回、避難訓練を実施しています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	入園時には嘱託医による診察を行い、病状・発作等の状況を確認しています。服薬管理は保護者にさせていただいています。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	診療統括医によるアレルギーの診察を行ってから、給食を開始しています。アレルギー除去食を提供しています。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事案が発生した場合は、ヒヤリハット報告書を作成し、園長への報告、職員間での共有し、対策を検討をしています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人で虐待防止委員会を設置しています。虐待防止に関する研修会を継続開催していきます。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	利用している園児に対する、身体拘束は禁止しています。あらためて職員に周知します。